

肝がんについて



副院長・内科部長 樋上 義伸
(肝臓・消化器内科)

肝がん死亡は全がん中第5位にあり、2017年の死亡数は27,500人（男：女＝1.8：1）と推定されています。これはピーク時（2004年）と比べて8,000人の減少で、主としてC型肝炎ウイルス（HCV）の排除による減少です。この減少は近年の経口新薬（DAA）によりさらに加速していますが、現在でもわが国の肝がんの60％はC型であり、副作用の少ない経口薬のみの治療で短期間かつ極めて高率にHCVの排除が可能となった今、未治療者の掘り起こしの重要性が強く叫ばれています。

一方、B型肝炎ウイルス（HBV）持続感染者における肝がんは15％前後ですが、ここ40年間でほとんど減少していません。核酸アナログ製剤の持続内服で肝発がんを抑制できることが判明しているのに、「肝機能に異常が

ないから」との誤った認識で放置されるばかりでなく、HBVに感染している事実すら患者さんに伝えられない例が多数存在していることが大きな問題とされています。

さらに最近では、脂肪肝（NASH）と関連した非B非C型肝がんの増加（25％）が目立ち、その対策も急務となっています。

肝がんは再発率が高く5大がんの中では5年生存率が低いことが知られています。しかし、ここ30年での肝画像診断（超音波・CT・MRI）および治療（ラジオ波焼灼・肝動脈塞栓・手術・化学療法）の進歩には目を見張るものがあり、当院においても10年を越えて生存なさっている患者さんが多数いらっしゃいます。





研修・講演・勉強会のご案内

12月分

1. 地域連携症例検討会

日時:12月11日(火) 19:00~20:15

場所:当院3階 集団指導室(改修工事のため場所が変更になります。)

1) 症例検討

(1) **糖尿病の経過中に診断された膜性腎症の1例**

腎臓内科 堀越 慶輔

(2) **骨髄移植後慢性GVHD患者に発症した舌扁平上皮癌の1例**

歯科口腔外科 高市 真由

2) ミニレクチャー

血尿を診たら。悪性疾患を見逃さないために!~尿路上皮癌の最新の診断と治療~

泌尿器科 高瀬 育和・児玉 浩一

血尿を主訴に連携医の先生方のところを受診される患者さんも少なからずいると考えます。血尿を認める症例で最も懸念されることの一つが、尿路上皮癌が存在するかどうかだと考えます。尿路上皮癌を見逃さないために、血尿の患者さんを如何にして診るか、危険因子などを踏まえた上で、どのような患者さんを専門医に紹介するかなどを解説します。また、最近ノーベル賞受賞でも話題となった免疫チェックポイ

ント阻害薬(ペムプロリズマブ:商品名キイトルーダ)が、2017年12月に尿路上皮癌に保険適応となりましたので、このような最新の知見も合わせて、尿路上皮癌の診断と治療に関して解説します。今回のミニレクチャーが、血尿の症例の診察する際に一助となることを期待いたします。また、血尿の事で迷うことがあれば、いつでも当科に御紹介をいただきたいと存じます。

※1月の開催は、ありません。

予告

日時:平成31年2月12日(火) 19:00~20:15

場所:当院3階 集団指導室

内容:①症例検討 2例 内分泌内科・外科
②ミニレクチャー (担当)眼科

2. 内科CPC

日時:12月11日(火) 17:30~

場所:医局カンファレンス

3. 緩和医療部会学習会

日時:12月11日(火) 17:45~18:45

場所:看護外来

○テーマ:緩和ケアにおける社会福祉士の関わり
(退院調整を含む社会的苦痛への支援)

○講師:社会福祉士 八木 智矢

4. 医療機器研修会

今月の開催は、ありません。

5. 糖尿病研究会定例学習会

日時:12月20日(木) 17:45~18:30

場所:看護外来

○テーマ:今さら聞けないシリーズ
透析予防と透析療法

○講師:透析看護認定看護師 松木 理浩

6. 感染予防対策学習会

今月の開催は、ありません。

7. 褥瘡対策学習会

今月の開催は、ありません。



8. NST学習会

日時:12月17日(月) 17:30~19:00

場所:集団指導室

○テーマ:①胃瘻造設について
②胃瘻管理について
③小児の特徴

○講師:①医師 水野 秀城
②看護師 草野 玲奈
③看護師 満保 恵

9. 看護研修

《衛星研修S-QUE Eナース》

※予約申込が必要です。ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

(TEL 076-422-1112代表 内線2989)

○テーマ:看護研究のためのやさしい統計学
視聴期間:12月11日~12月27日

○テーマ:自律し自立したジェネラリスト目指して
視聴期間:12月26日~2019年1月21日

《衛星研修S-QUE 新特別企画》

※予約申込が必要です。ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

(TEL 076-422-1112代表 内線2989)

○テーマ:第34回 病院環境フォーラム
外来部門の強化
視聴期間:12月5日~2019年1月31日

院内の専門職員のご紹介

DMAT (災害派遣医療チーム) の活動について

DMAT (Disaster Medical Assistance Team: 災害派遣医療チーム) とは、災害発生時に被災地に迅速に駆け付け医療を行うための、専門的な研修・訓練を受けたチームのことです。DMATは医師、看護師、業務調整員 (医師以外の医療職や事務職員) で構成されており、当院には現在15名のDMAT隊員が在籍しています。

近年の当院DMATの活動実績として、2年前の熊本地震では、業務調整員1名と、DMAT隊員を中心とする医療救護班1チームを派遣し、被災地での医療支援を行いました。今年9月の北海道胆振東部地震の際には、派遣要請に備えた待機と情報収集を行っています。また10月には中部ブロックDMAT実動訓練が富山県で開催され、県内で大地震が発生したという想定で、県下一斉に病院支援、患者搬送、情報伝達などの訓練を行いました。中部地方各県からDMATが集

日本 DMAT 隊員 (統括 DMAT)

集中治療科部長 循環器内科 **打越 学**



結し、当院においても病院支援のために派遣されたDMATと連携した災害訓練を行いました。

災害というと、地震・津波や水害などの自然災害を思い浮かべる方も多いと思いますが、大規模な航空機事故・列車事故や紛争・テロなども災害に含まれます。このような災害にも対応できるよう、他院・他県のDMATだけでなく、警察・消防・自衛隊などの関連機関と連携した様々な訓練にも参加しています。

今年は全国で災害が多発した1年でした。幸いにも富山県は災害の少ない地域ですが、いざという時には迅速に的確な活動を行えるよう、訓練や日々の備えに取り組んでいきたいと考えています。



医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

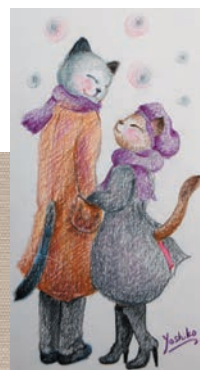
12月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	林	21日	呼吸器・血管外科	土岐	6日
	寺崎靖	12日		嶋田	6日
外消化器外科 科 乳 腺 外 科	藤村	6日	精神科	長谷川	7日
	寺田	6日		西田	20日
	佐々木	7日		坂本	7日
	萩野	7日	泌尿器科	児玉	6日・7日
	中山	6日	産婦人科	齋藤	3日、5日、6日、7日、10日、12日
整形外科 関節再建外科	澤口	21日	※その他、急に不在となることがありますのでふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。 TEL 076-422-1112 (代) 内線2168		
	五嶋	13日			

編集後記

昨年从去年から末っ子が野球を始めました。元々、野球好きだったわけではなかったのですが、やり始めてからは楽しくてならないらしく、朝から晩まで野球・野球・野球の日々を送っています。暇があれば、素振りやキャッチボールをし、グローブをしたままテレビを見ていることもあります。試合には家族が同行し、勝てば一緒に喜び、負ければ一緒に悔しがり、同じ感情を共有することができました。野球を通して家族の絆を深めることができたのではないかと思います。来シーズンに向けて、家族一致団結して始動します！

ふれあい地域医療センター 江本 かわり



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp